

第2章 障がいのある人を取り巻く状況

1 障がいのある人を取り巻く状況

(1) 障がい者（児）の人数

①障がい者の状況

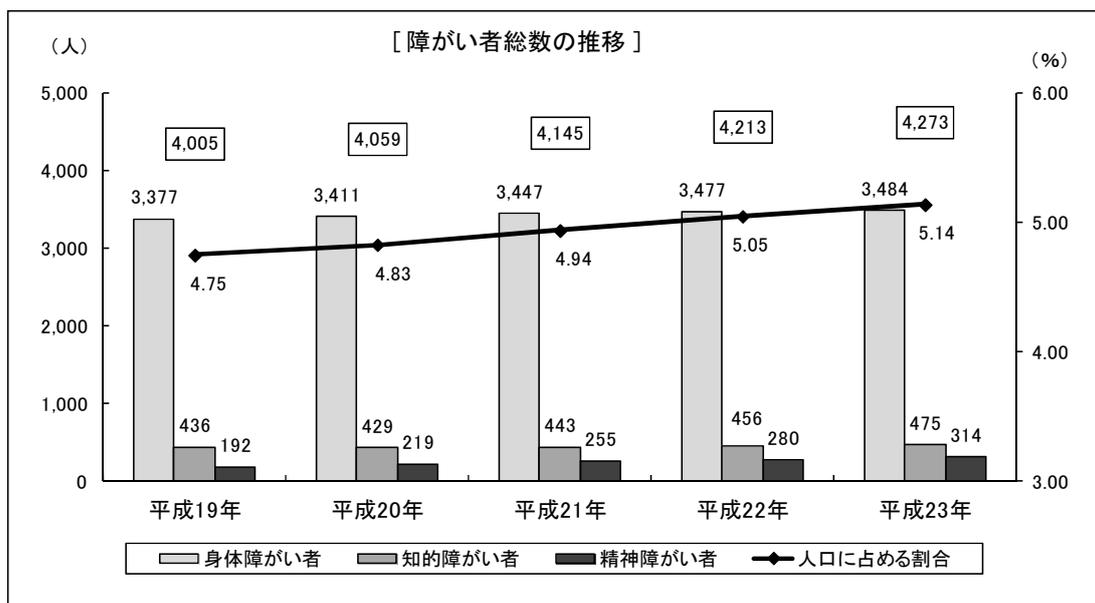
障がい者の推移をみると、身体障がい者（児）、知的障がい者（児）は、平成19年から平成23年にかけて、やや増加傾向となっていますが、精神障がい者数は大幅な増加傾向を推移しています。総人口に占める割合は、平成19年と比較して平成23年は0.39ポイント高い5.14%となり、今後も増加の傾向が予測されます。

[総人口、障がい者総数の推移]

区 分	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
総人口	84,313	84,108	83,859	83,469	83,142
障がい者総数	4,005	4,059	4,145	4,213	4,273
身体障がい者	3,377	3,411	3,447	3,477	3,484
知的障がい者	436	429	443	456	475
精神障がい者	192	219	255	280	314
人口に占める割合	4.75	4.83	4.94	5.05	5.14

※各年4月1日現在

単位：人、%



②身体障がい者(児)の状況

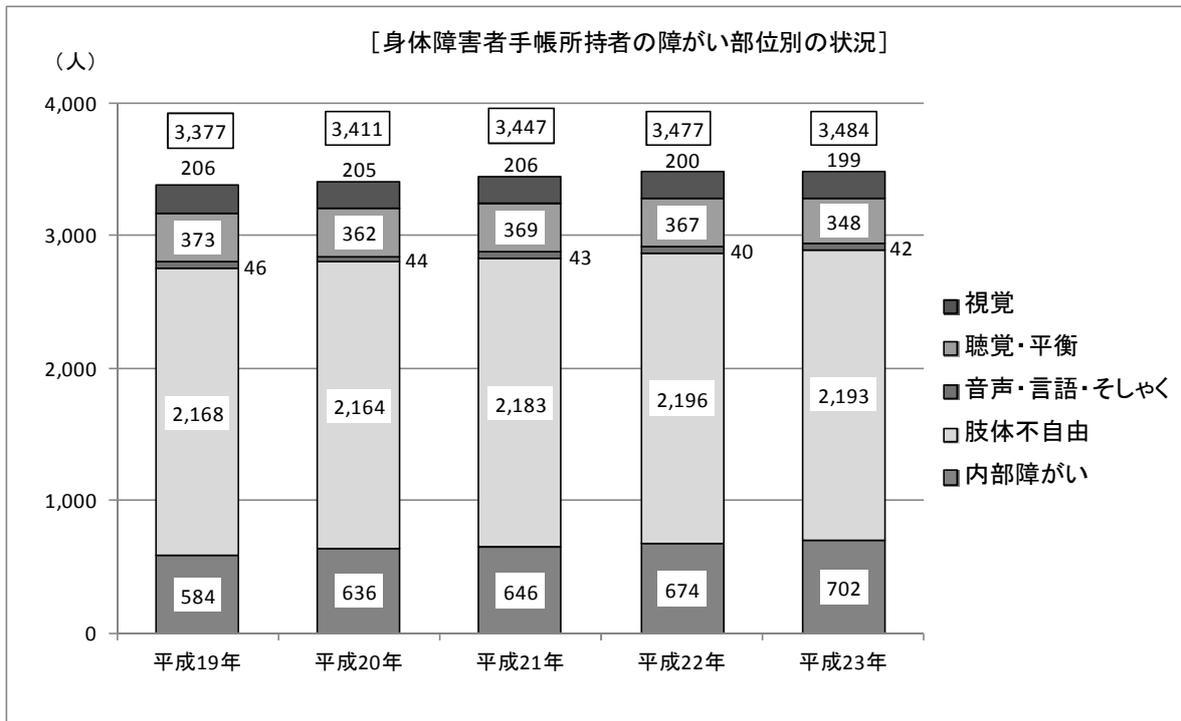
身体障がい者の障がい部位別の手帳所持状況をみると、各年とも肢体不自由が最も多くなっています。平成23年では、肢体不自由が2,193人と全体の62.9%となっています。次に内部障がい者が702人で20.1%、聴覚・平衡障がい者が348人で10.0%の順となっています。

[身体障害者手帳所持者の障がい部位別の状況]

区分	視覚	聴覚・平衡	音声・言語 そしゃく	肢体不自由	内部障がい	合計
平成19年	206	373	46	2,168	584	3,377
平成20年	205	362	44	2,164	636	3,411
平成21年	206	369	43	2,183	646	3,447
平成22年	200	367	40	2,196	674	3,477
平成23年	199	348	42	2,193	702	3,484

※各年4月1日現在

単位：人



身体障がい者の等級別の手帳所持状況をみると、全体では1級の手帳所持者が926人と全体の26.6%を占めています。次いで4級が800人（23.0%）、3級が572人（16.4%）の順となっています。

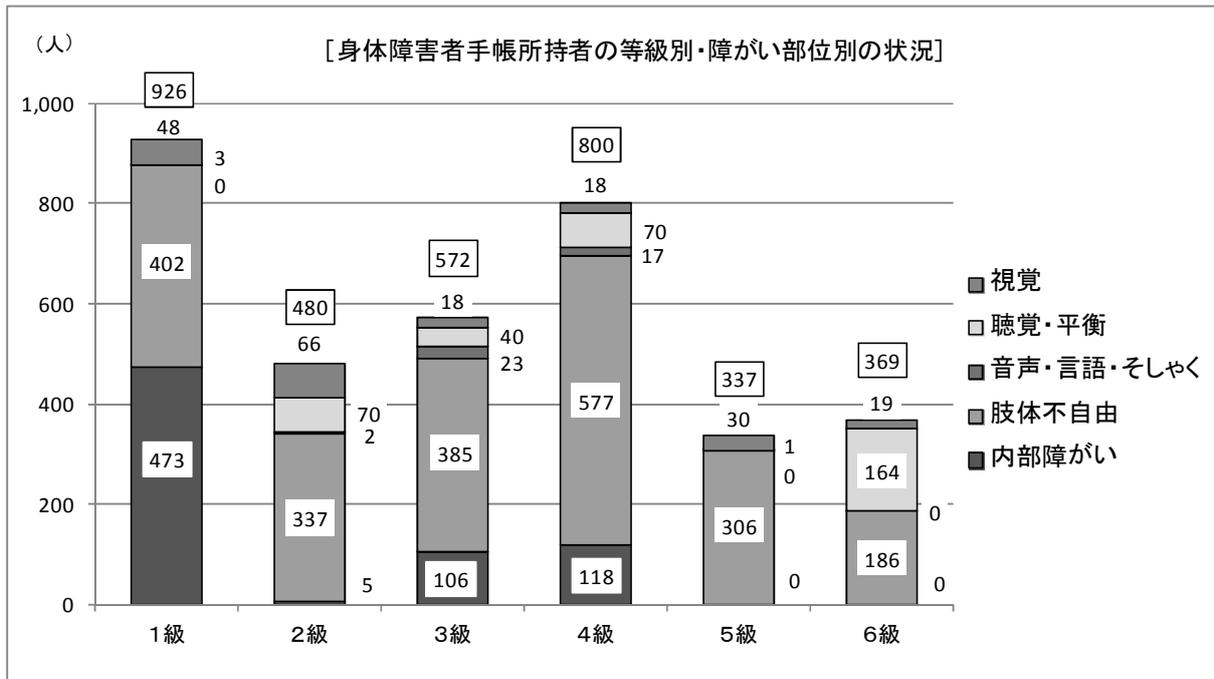
等級別・障がい別の部位でみると、肢体不自由の4級が577人で最も多く、全体の16.6%を占めています。次に、内部障がいの1級が473人（13.6%）、肢体不自由の1級が402人（11.5%）、肢体不自由の3級が385人（11.1%）の順となっています。

[身体障害者手帳所持者の等級別・障がい部位別の状況]

区 分	視覚	聴覚・平衡	音声・言語 そしゃく	肢体不自由	内部障がい	合計
1 級	48	3	0	402	473	926
2 級	66	70	2	337	5	480
3 級	18	40	23	385	106	572
4 級	18	70	17	577	118	800
5 級	30	1	0	306	0	337
6 級	19	164	0	186	0	369
合計	199	348	42	2,193	702	3,484

※平成23年4月1日現在

単位：人



③知的障がい者（児）の状況

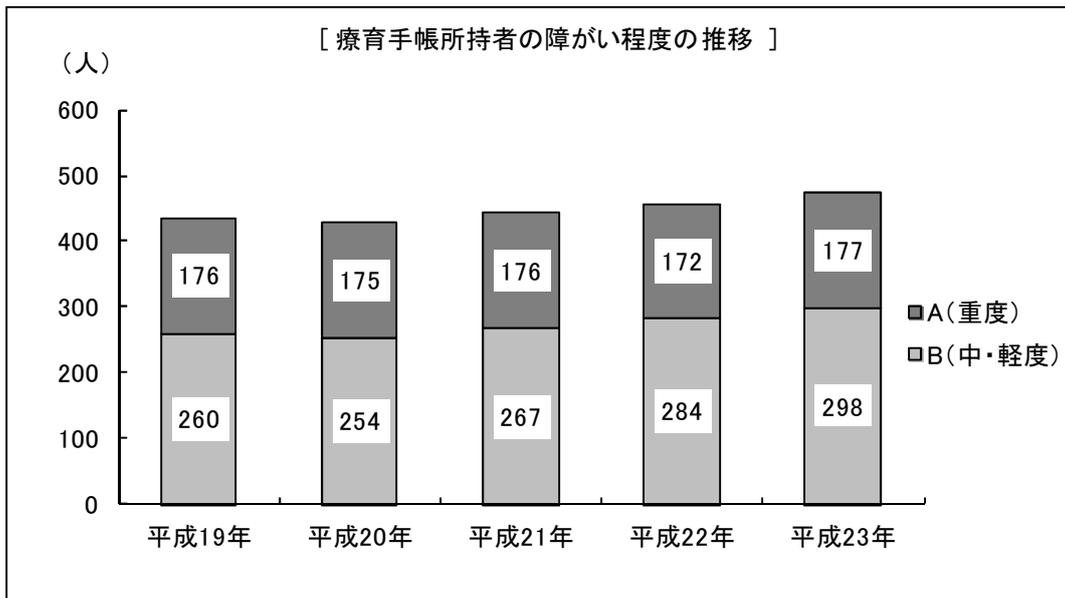
知的障がい者の程度別療育手帳所持者の推移をみると、各年ともB（中・軽度）の所持者が多くなっています。平成23年でみると、A（重度）の所持者の割合が37.3%、B（軽度）の所持者の割合が62.7%となっています。

[療育手帳所持者の障がい程度の推移]

区分	A（重度）	B（中・軽度）	合計
平成19年	176	260	436
平成20年	175	254	429
平成21年	176	267	443
平成22年	172	284	456
平成23年	177	298	475

※各年4月1日現在

単位：人



④精神障がい者及び自立支援医療受給者の状況

精神障害者保健福祉手帳の所持者の状況をみると、平成19年から平成23年にかけて増加傾向となっています。平成23年でみると、2級の所持者が250人と全体の79.6%を占め、最も多くなっています。今後も増加傾向が予想されます。

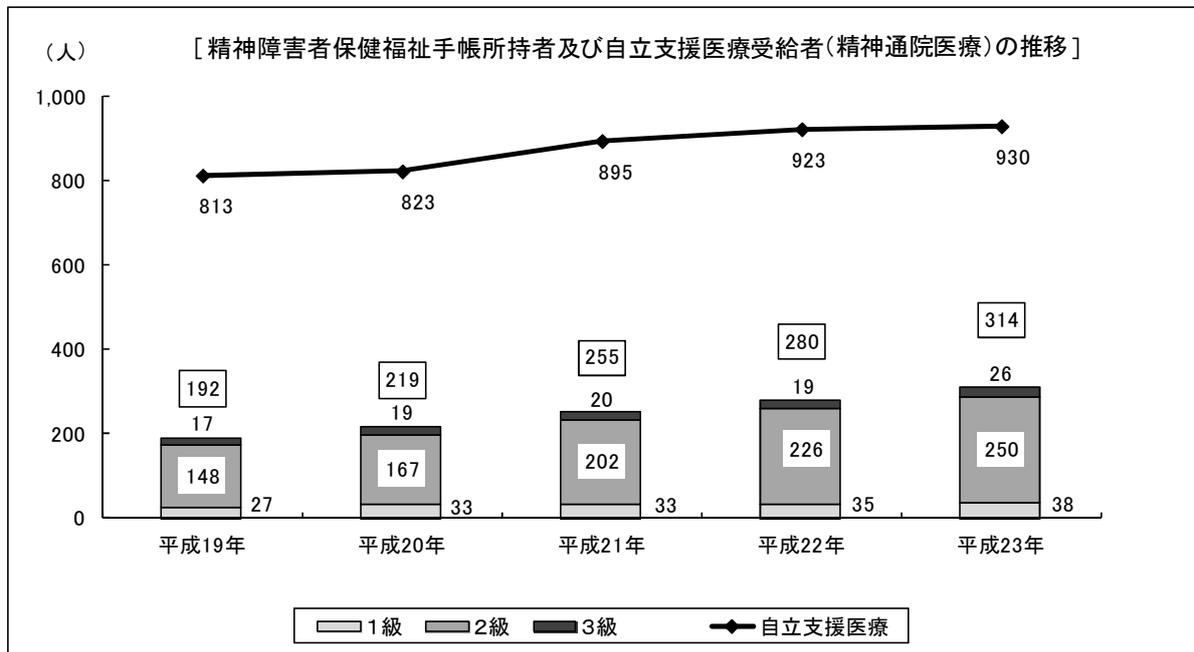
また、精神科、もしくは神経科等に通院されている自立支援医療の受給者は、平成23年で930人となっており、増加傾向となっています。

[精神障害者保健福祉手帳所持者及び自立支援医療受給者（精神通院医療）の推移]

区 分	1 級	2 級	3 級	合計	自立支援医療
平成19年	27	148	17	192	813
平成20年	33	167	19	219	823
平成21年	33	202	20	255	895
平成22年	35	226	19	280	923
平成23年	38	250	26	314	930

※各年4月1日現在

単位：人



⑤障害程度区分別の認定者数

障害者自立支援法では、障がい福祉サービスの支給決定にあたって、さまざまな状態の障がい者等が支援の必要度に応じて公平にサービスを受けられるよう、障がいの程度に関する尺度として、「障害程度区分」の制度が導入されました。

障害程度区分別の認定者数は、平成23年4月1日現在264人となっています。区分別では、区分1が64人で最も多く、次に、区分3が53人、区分2が49人の順となっています。

[障害程度区分別認定者数]

	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	合計
区分1	9	37	18	64
区分2	13	28	8	49
区分3	19	29	5	53
区分4	13	18	1	32
区分5	13	18	-	31
区分6	22	13	-	35
合計	89	143	32	264

※平成23年4月1日現在

単位：人

2 アンケート調査の概要

計画策定の基準資料として把握するため、障がいのある人の生活実態や障がい福祉サービス等の利用状況、利用意向を把握し、計画に反映することを目的に障がい者福祉に関するアンケート調査を実施しました。

(1) 調査内容

- ◆調査月 : 平成23年8月
- ◆調査基準日 : 平成23年4月1日現在
- ◆調査対象者 : 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳
をお持ちの方及び自立支援医療受給者の方
- ◆回収方法 : 郵送による配布・回収

(2) 回収結果

手帳 所持者	配布部数	828件
	回収部数	445件
	回収率	53.7%
	有効件数	445件

自立支援医療 受給者	配布部数	222件
	回収部数	98件
	回収率	44.1%
	有効件数	98件

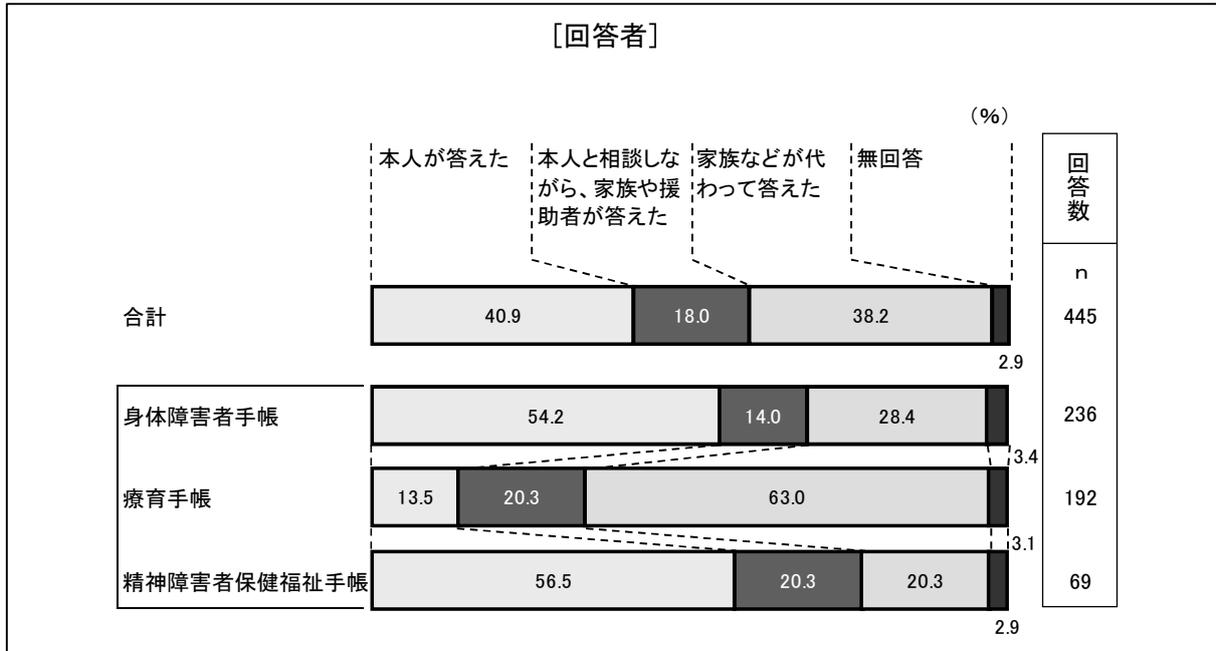
(3) 報告書の見方

- ① 報告書中の「n」の数値は、設問への回答者数を表します。
- ② 回答の比率は、すべて小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。したがって、回答者比率の合計が100%にならない場合があります。
- ③ 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問については、全ての回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- ④ 複数回答のクロス集計表については、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の重複等が含まれるため、n値が一致しない場合があります。また、年齢・性別での無回答も含まれるため、n値が一致しない場合があります。

■障がい者福祉に関するアンケート調査（障がい者手帳所持者）

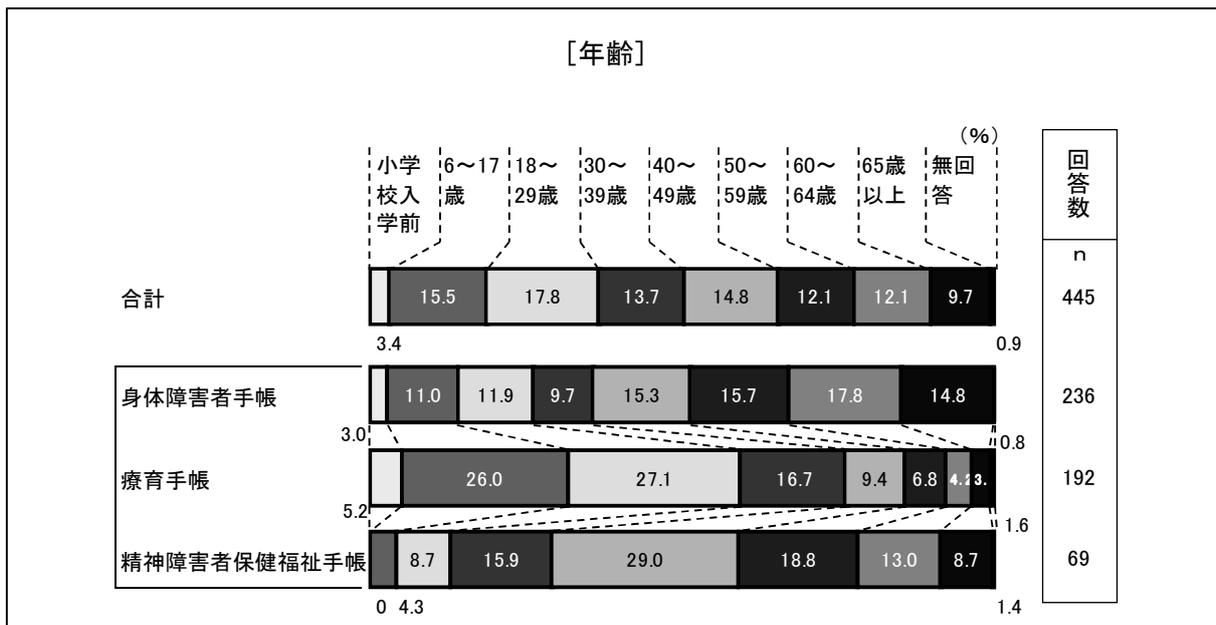
①回答者

この調査票を、お答えになる方はどなたですか。



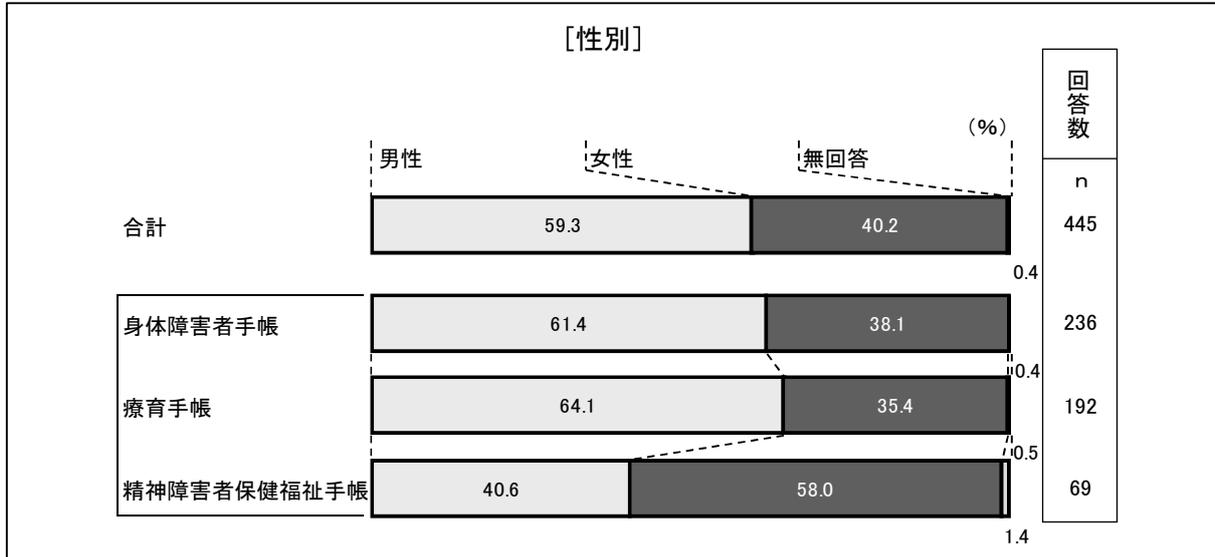
②年齢

あなたの年齢は平成23年4月1日現在、満何歳ですか。



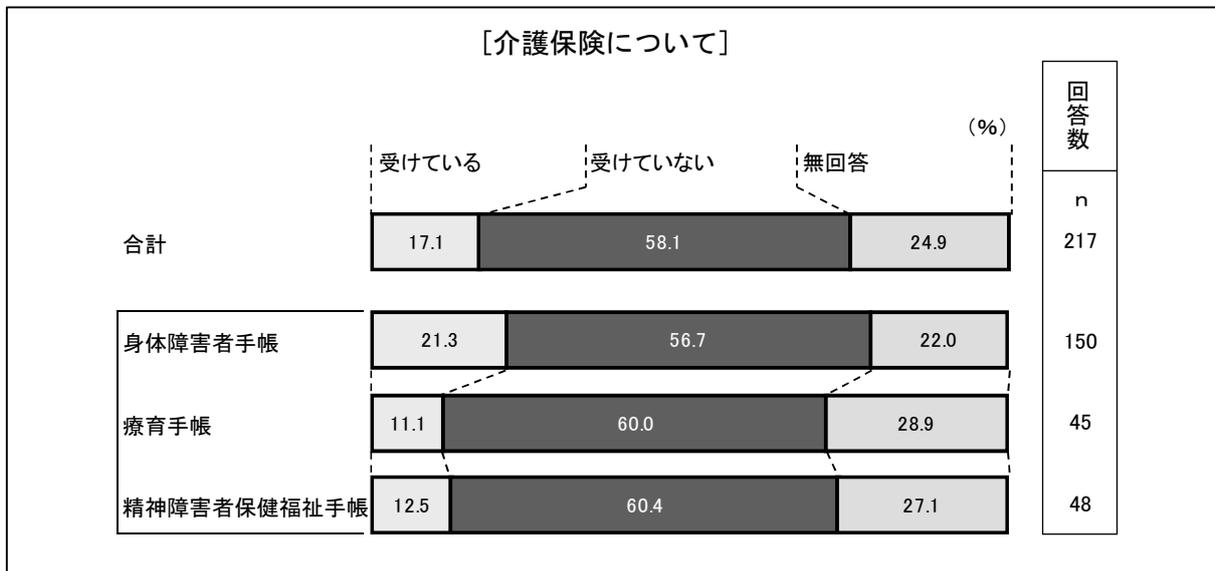
③性別

あなたの性別はどちらですか。



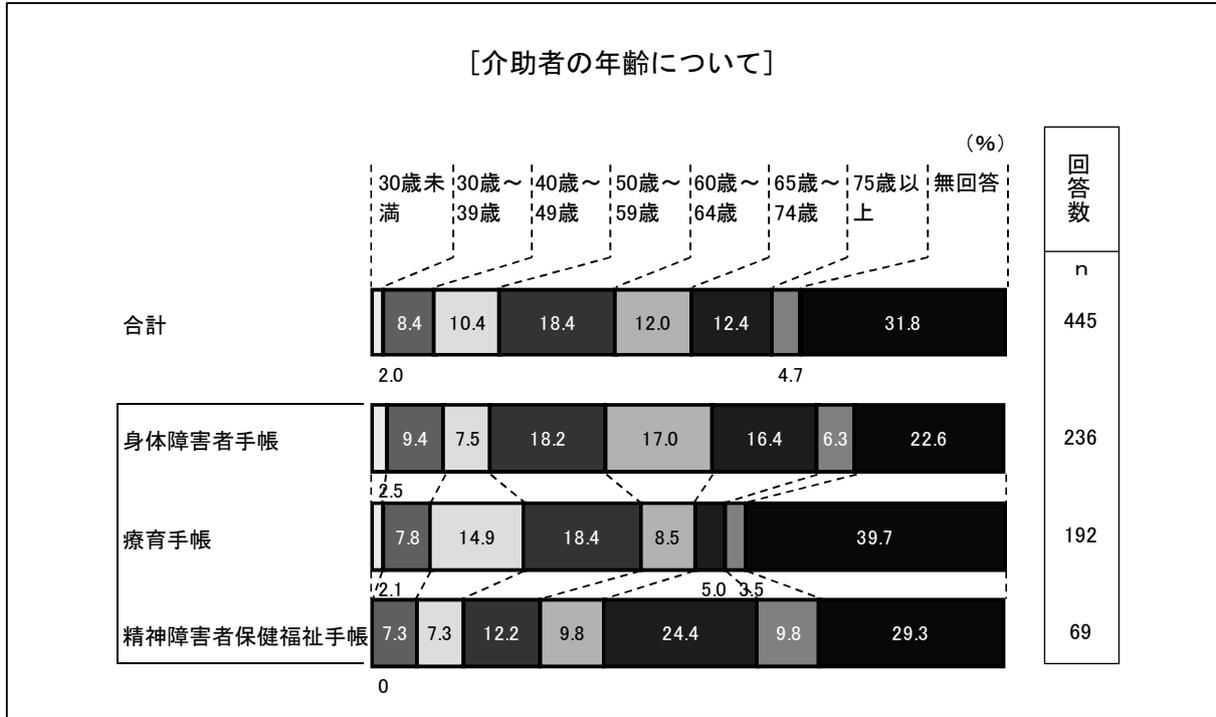
④介護保険について（40歳以上の方）

あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。



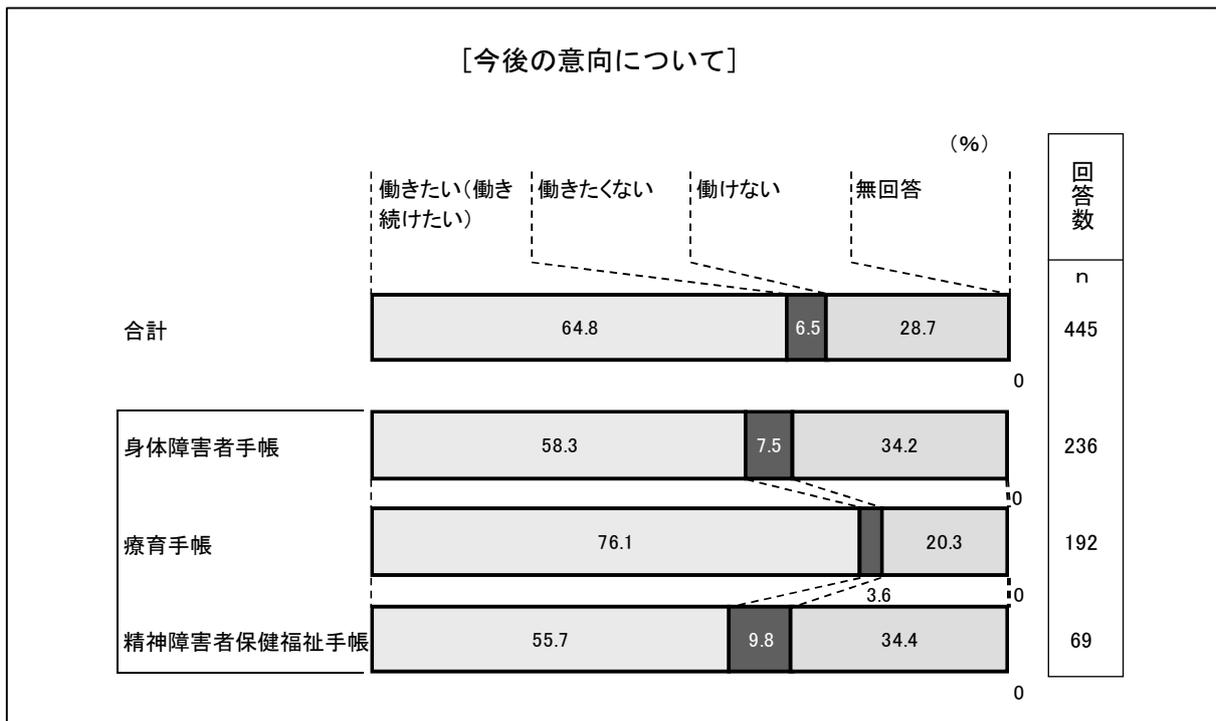
⑤ 介助者の年齢について

主な介助者の年齢は何歳ですか。

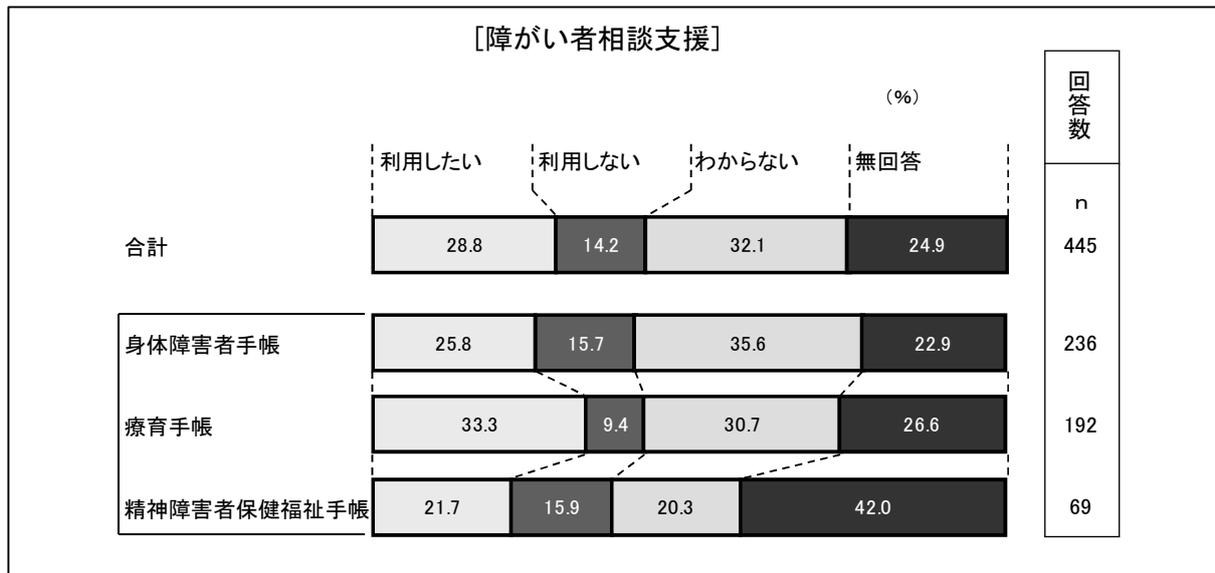
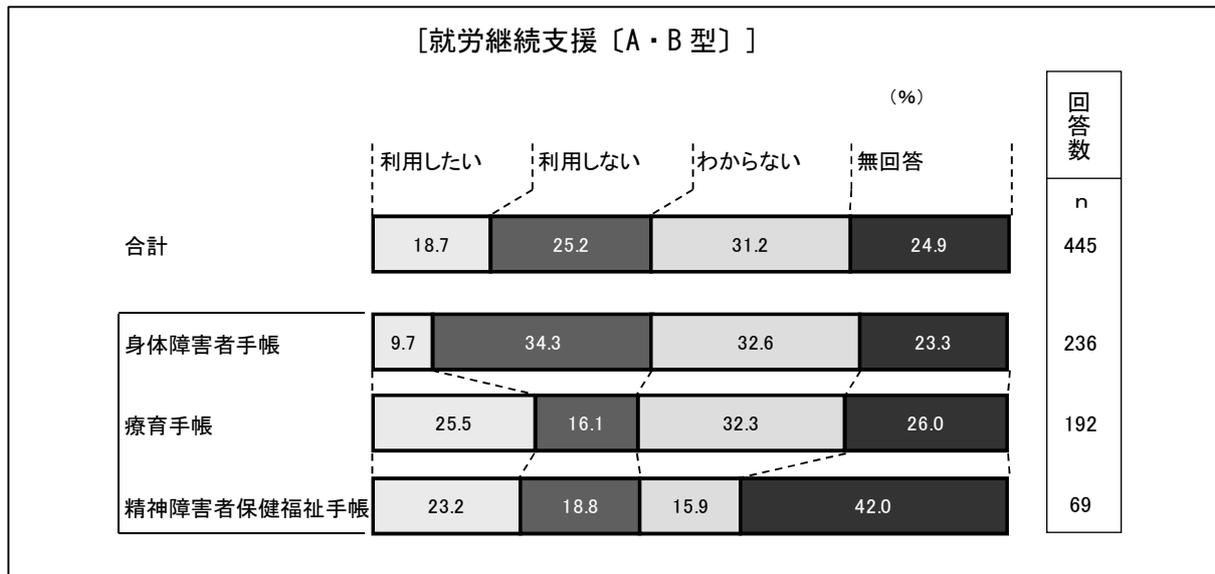


⑥ 今後の意向について

あなたは、今後、働きたい（働き続けたい）ですか。

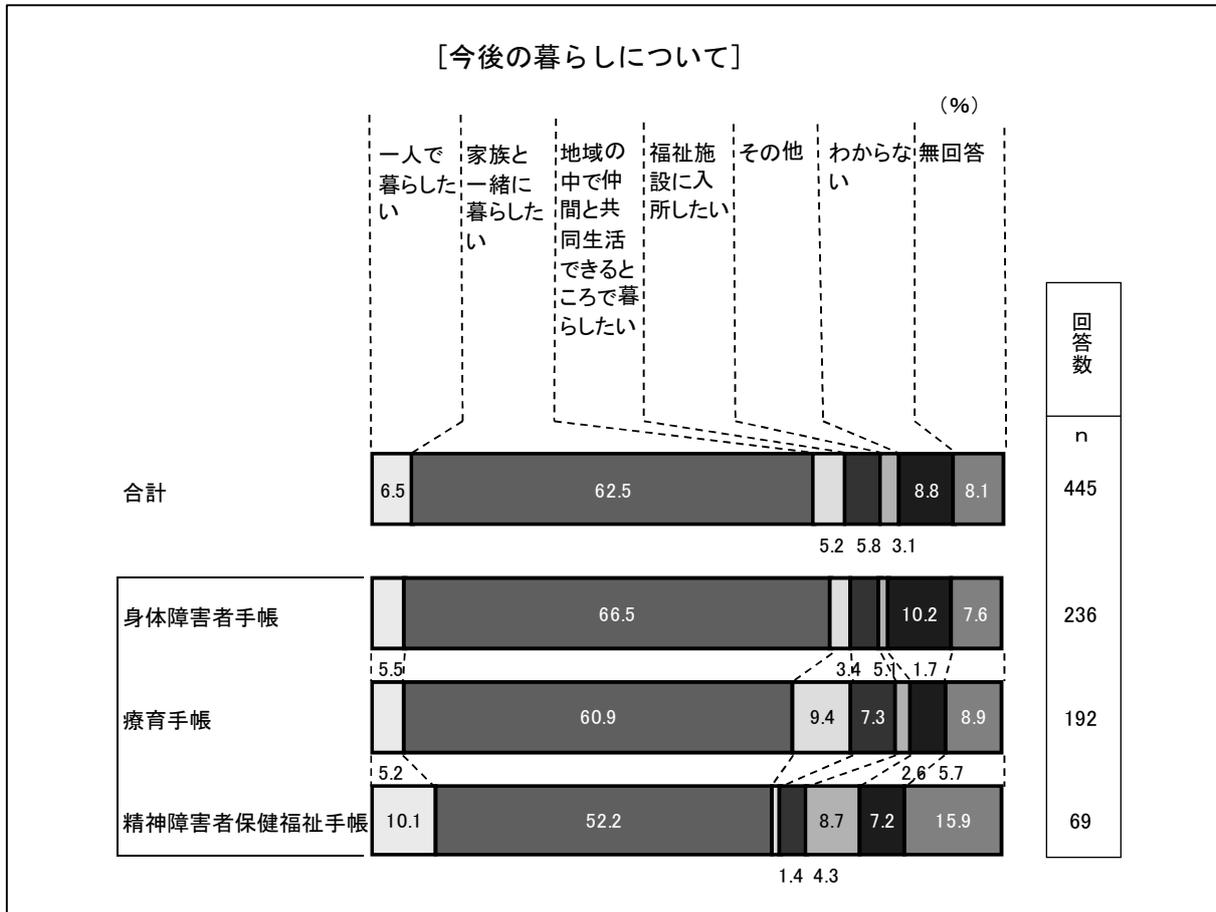


⑦福祉サービスの利用意向（就労継続支援〔A・B型〕）
以下の福祉サービスを今後利用したいと思いますか。



⑧今後の暮らしについて

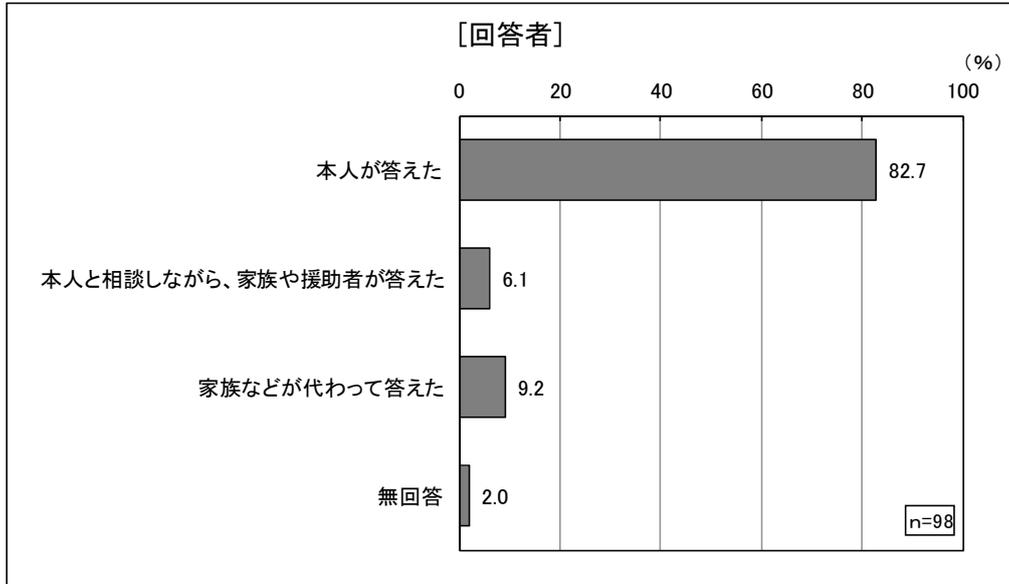
あなたは、今後、どのように暮らしたいと思いますか。



■障がい者福祉に関するアンケート調査（自立支援医療受給者）

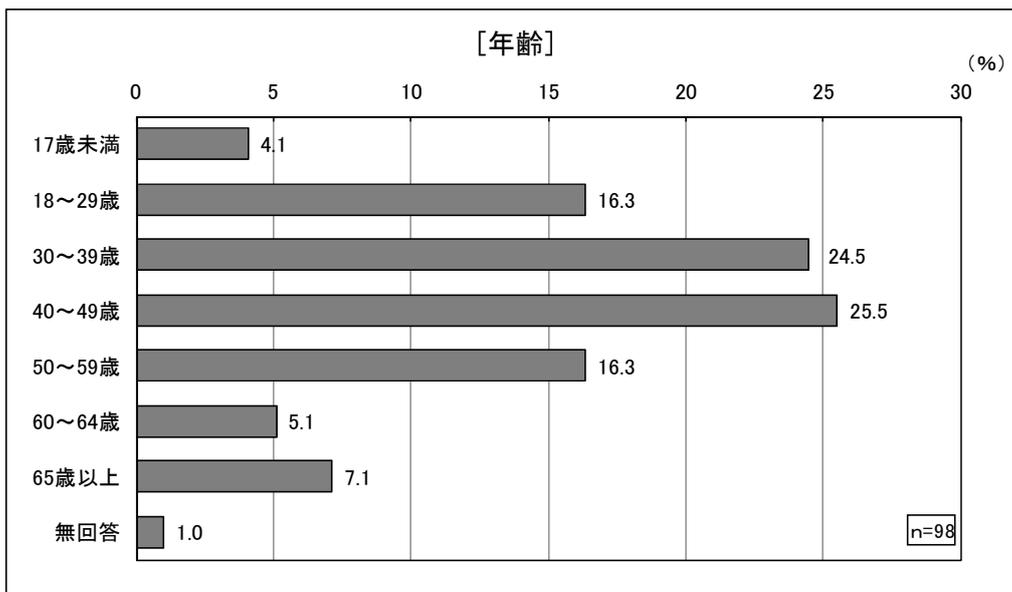
① 回答者

この調査票を、お答えになる方はどなたですか。



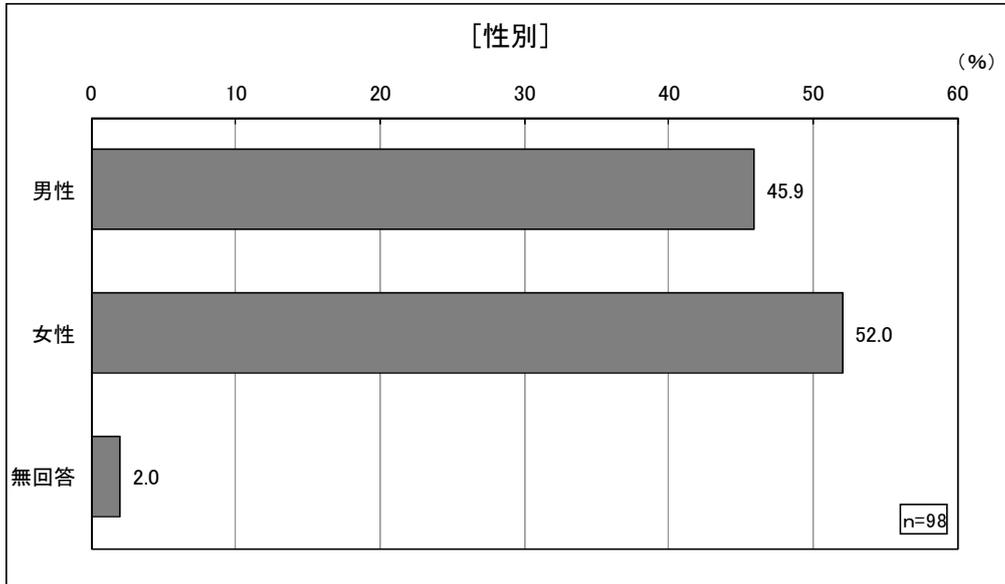
② 年齢

あなたの年齢は平成23年4月1日現在、満何歳ですか。



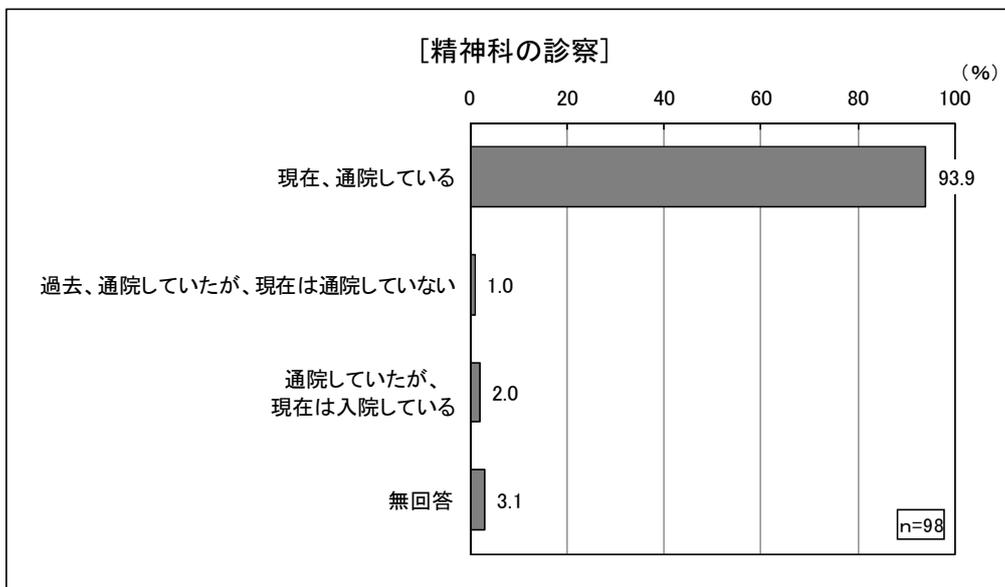
③ 性別

あなたの性別はどちらですか。



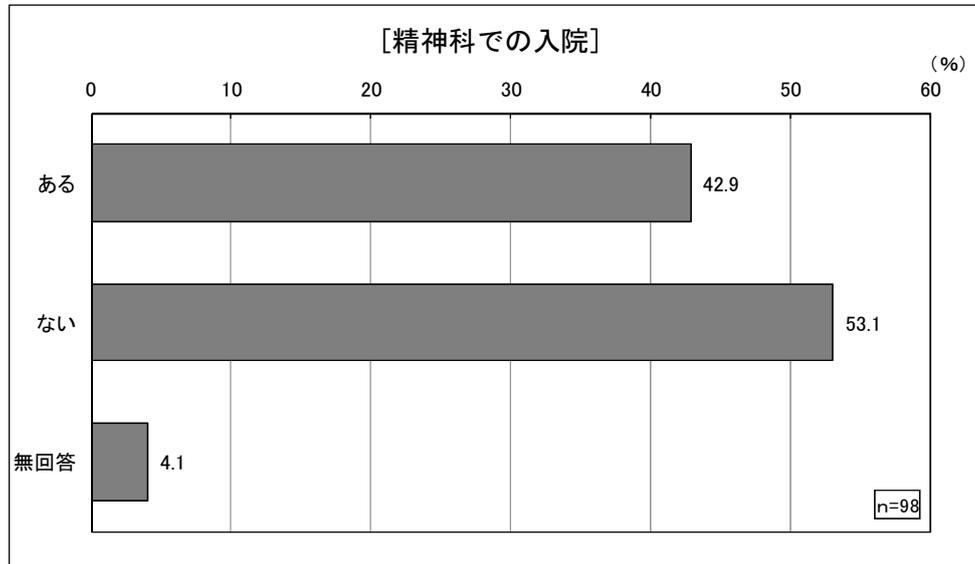
④ 精神科の診察

現在あなたは、精神科で診察を受けていますか。



⑤ 精神科での入院

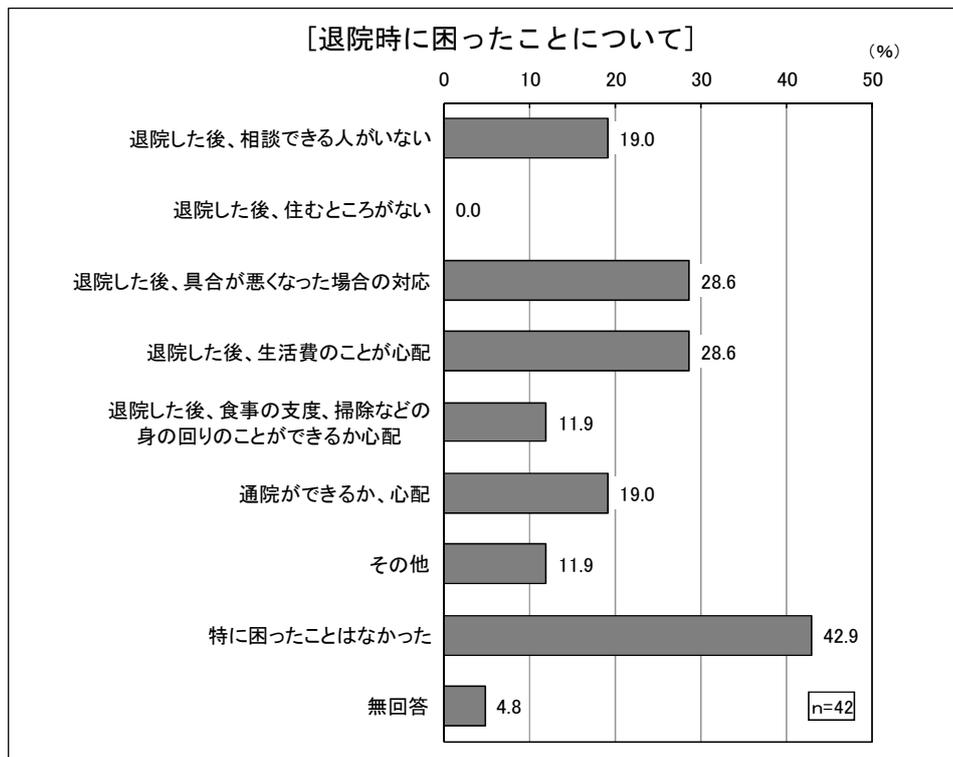
精神科で、入院したことがありますか。



⑥ 退院時に困ったことについて

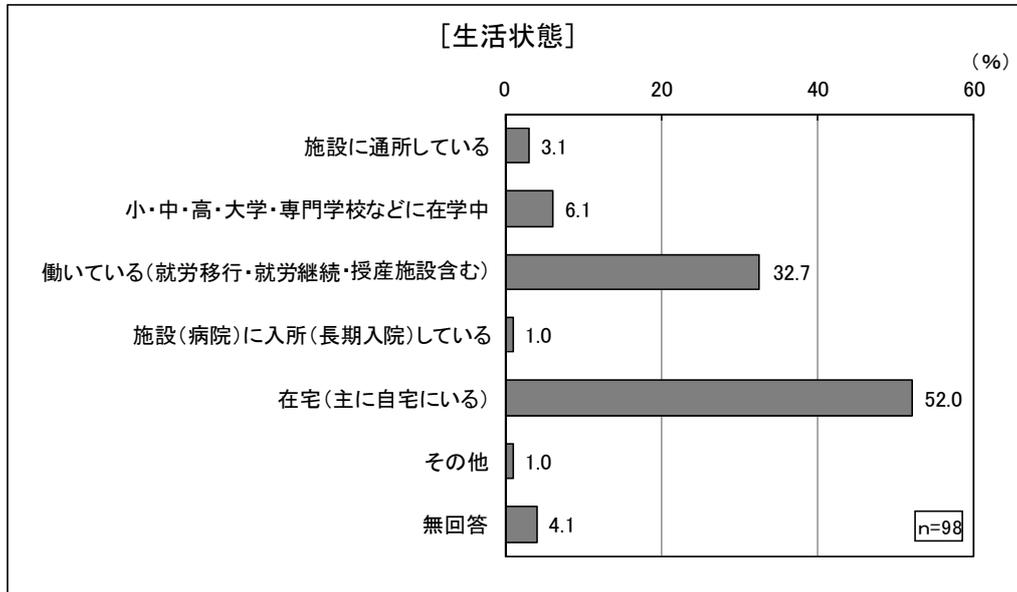
⑤で「1.ある」とお答えした方のみ。

退院する時に困ったことはありましたか。(複数回答)

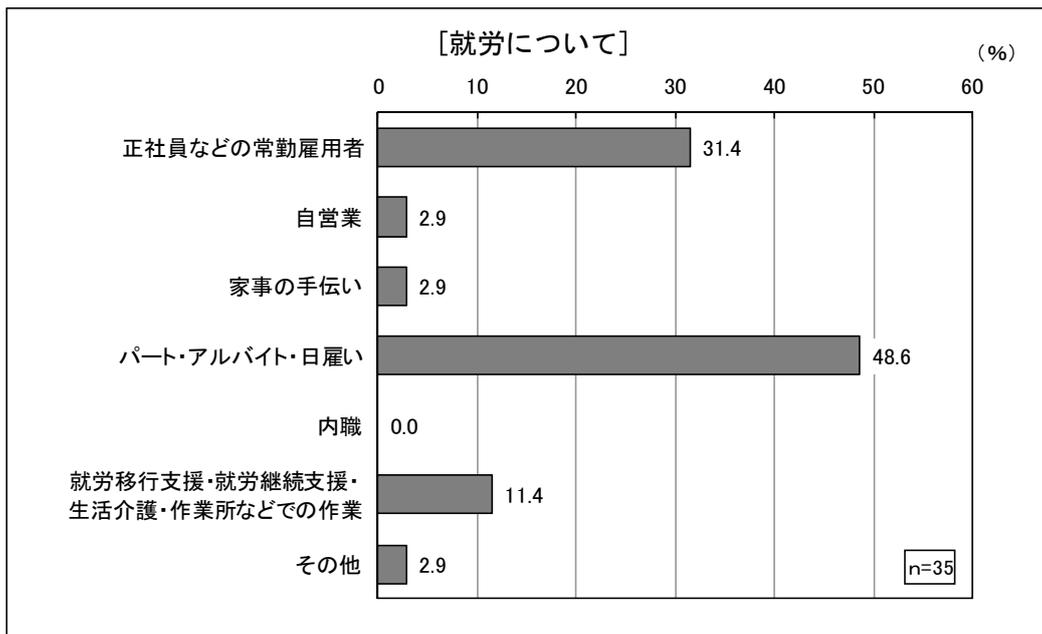


⑦ 生活状態

今のあなたの日常生活の状態はどれにあてはまりますか。



⑧ 就労について（「仕事をしている（通所を含む）」とお答えした方のみ）
雇用の形態は何ですか。



自由意見のまとめ

福祉に関するアンケート調査(手帳所持者)

障がい福祉サービス等について

- ・自立支援医療再手続きのことですが、家族が先々で代理人できない場合、本人は理解できない時かかりつけの医師が期限手続き出来たらいいと思う。
- ・日常生活用具は大人になって初めて使えるのではなく、子どものころから長い時間をかけて、やっと使えるものがあるのに、年齢制限で区切られるのはおかしいことだと思います。
- ・高齢者のケアマネージャーのような人を障がいを持つ人すべてにつけてほしい。月に1回訪問して要望を聞きにくる。
- ・共同生活介護等ケアホームを整備してほしい。(グループホームは少しあるがケアホームがない)
- ・作業所や福祉施設の数不足しているので、作ってほしい!
- ・重度重複障がい児が利用できるデイサービスや施設を増やしてほしい。
- ・燕市内に受け入れが一括できる施設があると助かります。
- ・近くに、ショートステイ、デイサービスの施設が充実してくれると助かります。
- ・保育園のように一時預かり制度みたいのがあってもいいのでは?
- ・燕市の福祉作業所は、いくつかありますが、重度の障がいの子どもの通える作業所がとても少なく限られます。
- ・家族の負担を減らすために、土日や祝日、夜間などにも訪問看護やヘルパーが気軽に利用できるようにしてほしい。(料金面など)
- ・市内で、授産施設、作業所が不足しており、緊急に設置が必要である。他市町村に行き場を頼っている現状を、早急に解決していただきたい。

相談等について

- ・障がい児親子が気にせずに行ける発達相談日の設定。
- ・24時間体制の相談窓口を充実させてほしい。
- ・家に直接来てくれる相談員さんがほしいです。
- ・字が読めず、身体障がい、耳が聞こえない人が誰に相談したらいいかわからずいたり、相談員の活動が足りないと思う。

移動支援について

- ・福祉バスの回数を減らして、病院へ行くための福祉タクシーの無料化をお願いします。
- ・燕市外への送迎サービスをしてほしい。
- ・公共交通機関の手段が少ないと思います。
- ・移動支援の充実を求めたい。

生活や活動等の場について(社会参加)

- ・障がい者向けのスポーツ教室、あるいは文化的な教室を開いてほしい。
- ・地域の中で気軽に通える場所をもっと増やしてほしい。
- ・放課後、何かスポーツに、芸術に、障がい児が趣味に勉強に没頭できる空間があることを強く希望します。

就労支援について

- ・障がい者の働く場を増やしてほしい。
- ・公務員の障がい者枠での採用を行ってほしい。
- ・精神障がい者雇用の枠がなくこまりはてしています。
- ・学校卒業後、働ける作業所をもっと増やしてほしいです。
- ・福祉作業所などまだまだ少ないと思います。年々障がい者が増えています。働く場(福祉作業所)考えてください。
- ・就労施設の拡大・充実を望みます。
- ・学校で作業の時間に封筒のラベルはりなど、いろいろなことを教わっている。市の仕事のお手伝いができればと考えています。
- ・障がい児を抱えていても働ける環境にしてほしい。

医療やケアについて

- ・健康診断を作業所単位など小さな集団で受けたいです。
- ・緊急時、休日・夜間でもアドバイスしていただける専門医など、常時いてほしい。
- ・夜間等に具合が悪くなった際、専門医がいないという理由で、別の病院へ行くように言われたので、すぐ対応できるようにしてほしい。
- ・地元にもっと障がい者を持つ家庭に寄り添った施設や医院があったら遠くまで通わなくて済むのかなと思います。

経済的支援について

- ・もう少し助成してほしいし、もっと障がい者に優しい生活環境を作ってほしい。
- ・現在、整形外科(リハビリ週1)、内科、泌尿器科、眼科、歯科に通っていますが、精神科以外にも医療費の負担軽減、ぜひお願い致します。
- ・現在の療育手帳はAのほうはものすごく福祉の方がよいが、Bの方だとかなり利用できるものがない。

その他・市への要望

- ・「障がい者福祉のしおり」の発行を年度初めにしてほしい。
- ・JR運賃の割引の対象を拡充してほしい。
- ・できるだけ多くの場所に手すりをつけてほしい。

- ・障がい児を専門に見てくれる保育園に代わるようなものがほしい。
- ・今保育園に通っていますが、保健センターと小学校(支援学級)と保育園と家庭、連携をとって、スムーズな就学をしたい。
- ・学校(支援学級)の充実。特に高等学校への進学が現在困難なようなのもっと増やしてほしい。
- ・障がい者用エレベーター、バスや電車での障がい者用座席など、精神障がい者も利用するということを健常者の人にも理解してもらえるように取り組んでほしいです。
- ・市内に言葉の学校を増やしてもらいたいです。できれば週1回行けるような。特別支援学校にSTをおくとか。
- ・障がい児に対して、楽しく遊び、良いおもちゃ、様々な体験活動などをもっと行政で考えて行ってほしいが無理だと思うので、そういった活動を行っている市民団体、サークルなどへの助成金、援助を行ってほしいです。
- ・学校内に児童クラブを設置して、障がいのある子どもみんな一緒に放課後すごせたらと思います。
- ・学校を卒業すると先生からのアドバイスもなくなり親とだけでこれからを考えることになりましたが、保健師さんや民生委員さんなどチームで人生のアドバイスと見守りをしてほしいです。
- ・障がい者だけでなく、その家族の状況も把握していただけますようお願いいたします。
- ・書類手続きをわかりやすくしてほしい。
- ・肢体不自由な人が災害が起きた時、自分で避難できない場合(家で自分ひとりの時)地域で助け合うシステムの充実。
- ・窓口の延長や土・日でも一部でも手続きができるとうれしいです。
- ・バスや電車のアナウンスを電子掲示板で表示してほしい。

情報提供について

- ・今後は相談窓口が誰でもわかるよう、広報等での情報提供をもっと行うと良いと思います。
- ・助成や福祉制度等積極的に情報提供してほしい。
- ・今回このアンケート用紙を見て、知ることが多く冊子などがあると良いと思います。
- ・色々なサービス利用の手続きをもっとわかりやすく簡単にスピーディーにしていきたい。
- ・このアンケートで知ったサービスや手当がたくさんあったので、障がいをもっている人が受けられるサービスや手当を、その人その人でわかるように個々に知りたいです。なので、個別に提示された書類などを郵送等してくださると有難いです。
- ・福祉サービスの情報、施策がわかりにくい。本人や家族や介護者がもう少し分かりやすく情報が入るようにしていきたい。
- ・民生委員や児童委員がいられるので、安否の確認だけでなく、詳しい情報の提供などをどんどん行ってほしい。

福祉に関するアンケート調査(自立支援医療受給者)**相談等について**

- ・専門的、まじめな心理カウンセラー的な方が(多く)いて欲しい。
- ・(心理)カウンセラーを育成する機関を積極的に作って欲しい。
- ・職場との間に入って、悩みや不安を解決する手助けをしてほしい。(ハローワーク以外で)
- ・私のこの悲しい状況を聞いてくれる人がいたらいいなと思います。
- ・先生以外に相談したくてもどこにそういうところがあるかわからない。
- ・地域に相談のできる専門のカウンセラーの方などが居てほしいです。
- ・相談できる窓口(病院には相談している)があったら知りたいです。

就労支援について

- ・就労継続支援 A 型の施設がもっと多く、作業内容も幅の広い施設があれば助かる。
- ・精神的に困っている人でも働ける所があってほしいです。又、そういう人を受け入れてくれる所があればハローワークなどで明確にのせてほしいです。

医療やケアについて

- ・夜間、救急で心療内科もしくは精神科で診察していただける所があると助かります。内科だけでは、とても精神面を分かってもらえませんので。

経済的支援について

- ・車や新幹線等乗り物の割引等があると助かります。
- ・薬を安くしてほしい。
- ・現状の医療費だけでも続行していただきたい。

その他

- ・もっとサポートしてほしい。職員の方は家に来てください。
- ・自立支援者が集うミーティングなどあってもいいと思います。
- ・ひとり暮らしの人に、多くの声掛け、訪問をしてもらいたい。

3 事業所調査等の状況

平成24年度から3年間を計画期間とする、第3期燕市障がい福祉計画の策定にあたり、燕市内で障がい福祉サービスを実施している事業所等の現状を把握する必要があることから、運営状況やご意見をお聞かせいただくためアンケート調査及び回収時にヒアリングを実施したものです。

(1) 調査内容

- ◆調査月 : 平成23年10月14日～10月25日
- ◆調査基準日 : 平成23年4月1日現在

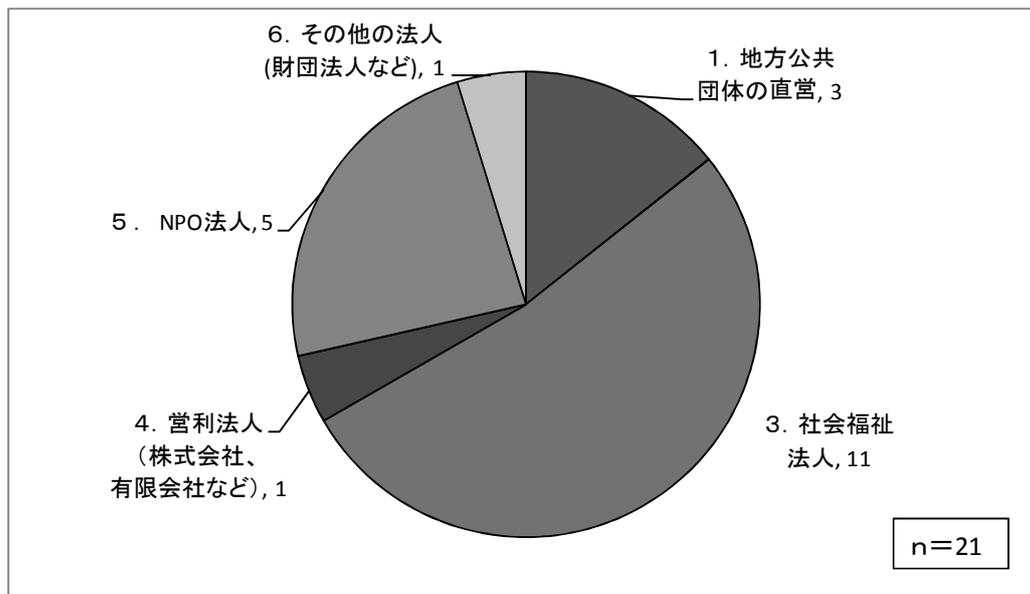
(2) 調査対象

調査対象	燕市内で障がい福祉サービスを実施している事業所 20事業所（サービス内容別も含む）
配布部数	21部

■調査結果の概要

1 事業所の運営主体

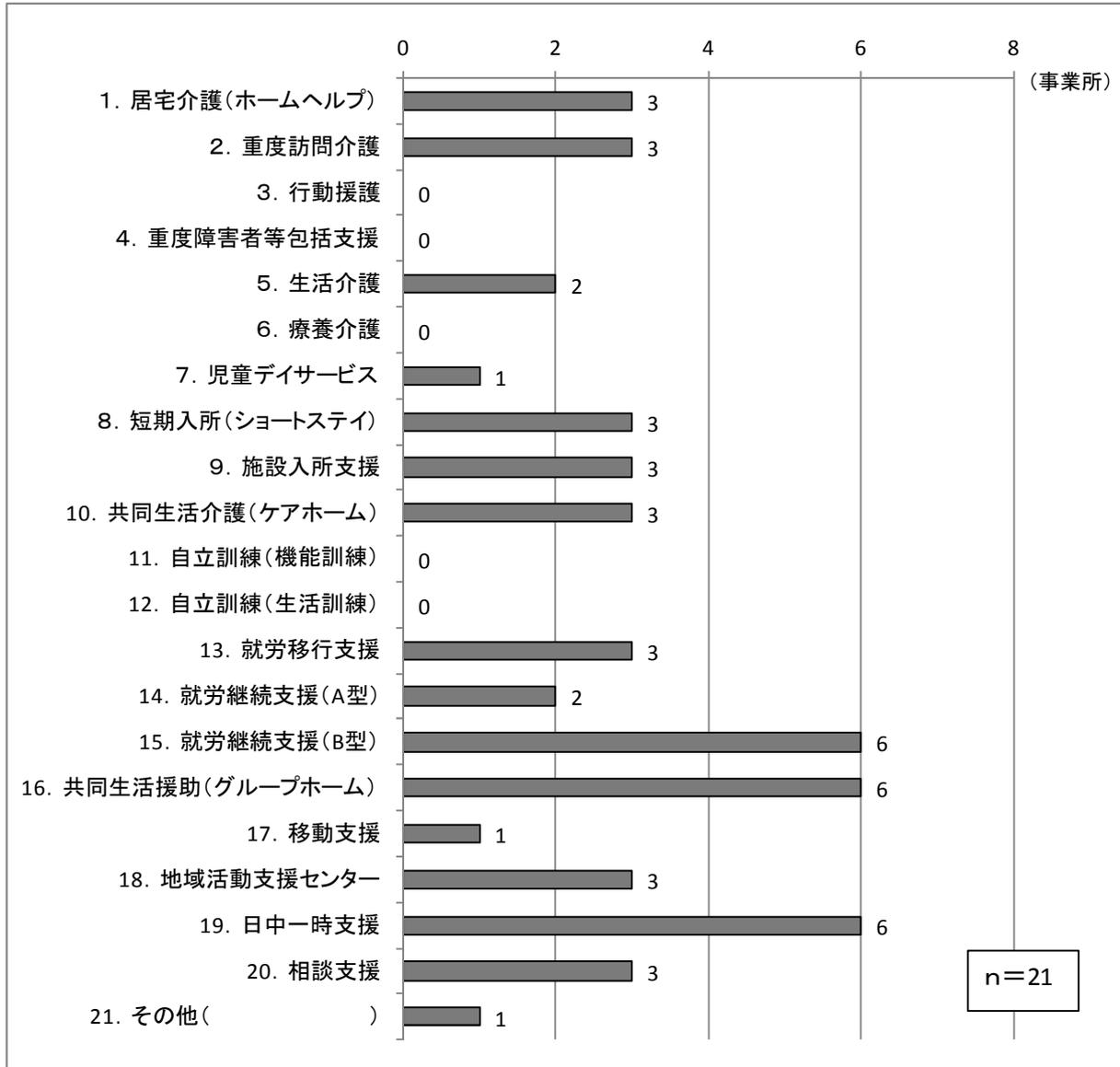
貴事業所の運営主体は、次のうちどれですか。



※調査結果のグラフ表示は回答件数表示となっています。

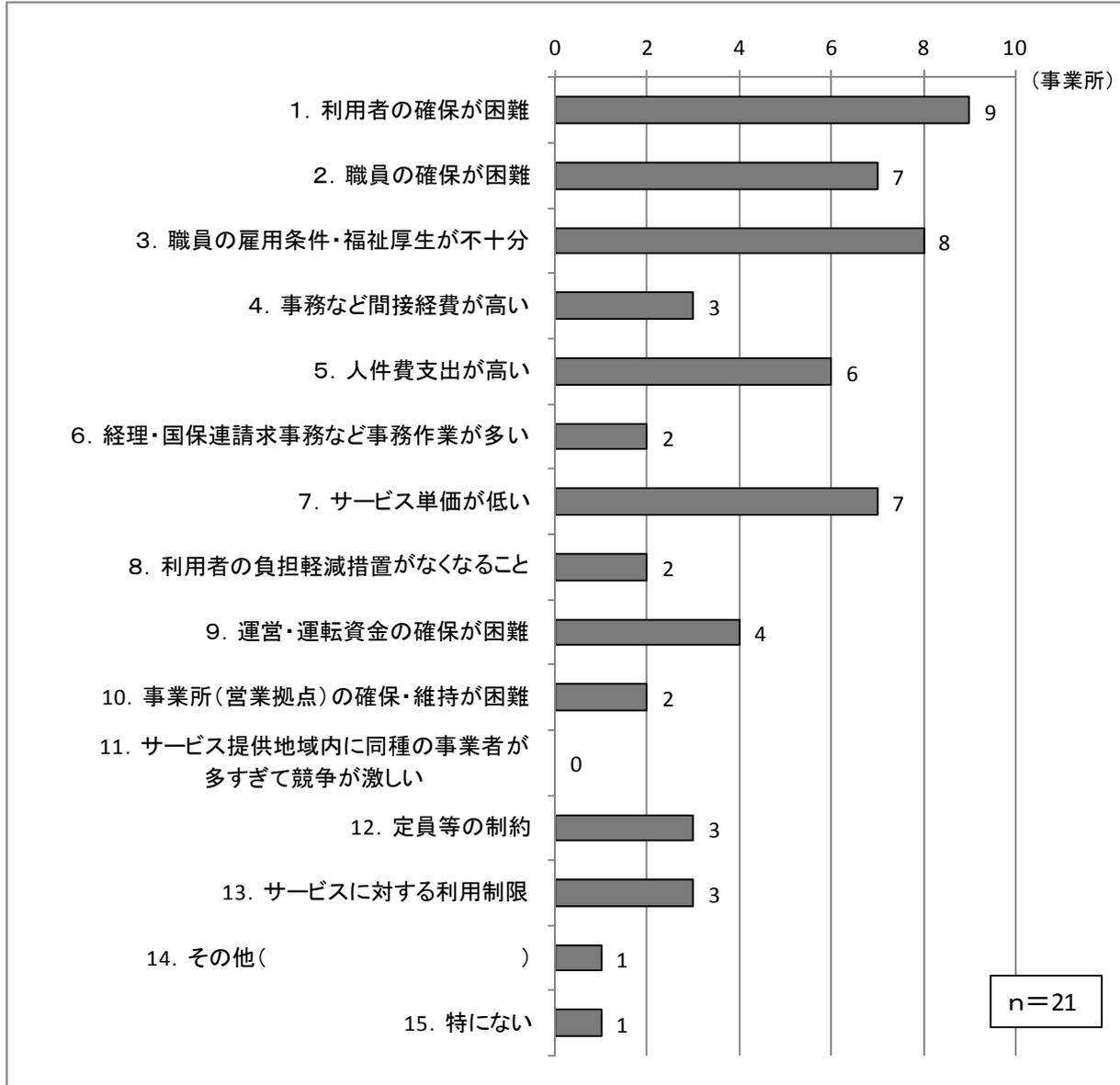
2 事業所で実施している事業内容

貴事業所で実施している事業は何ですか。(複数回答)



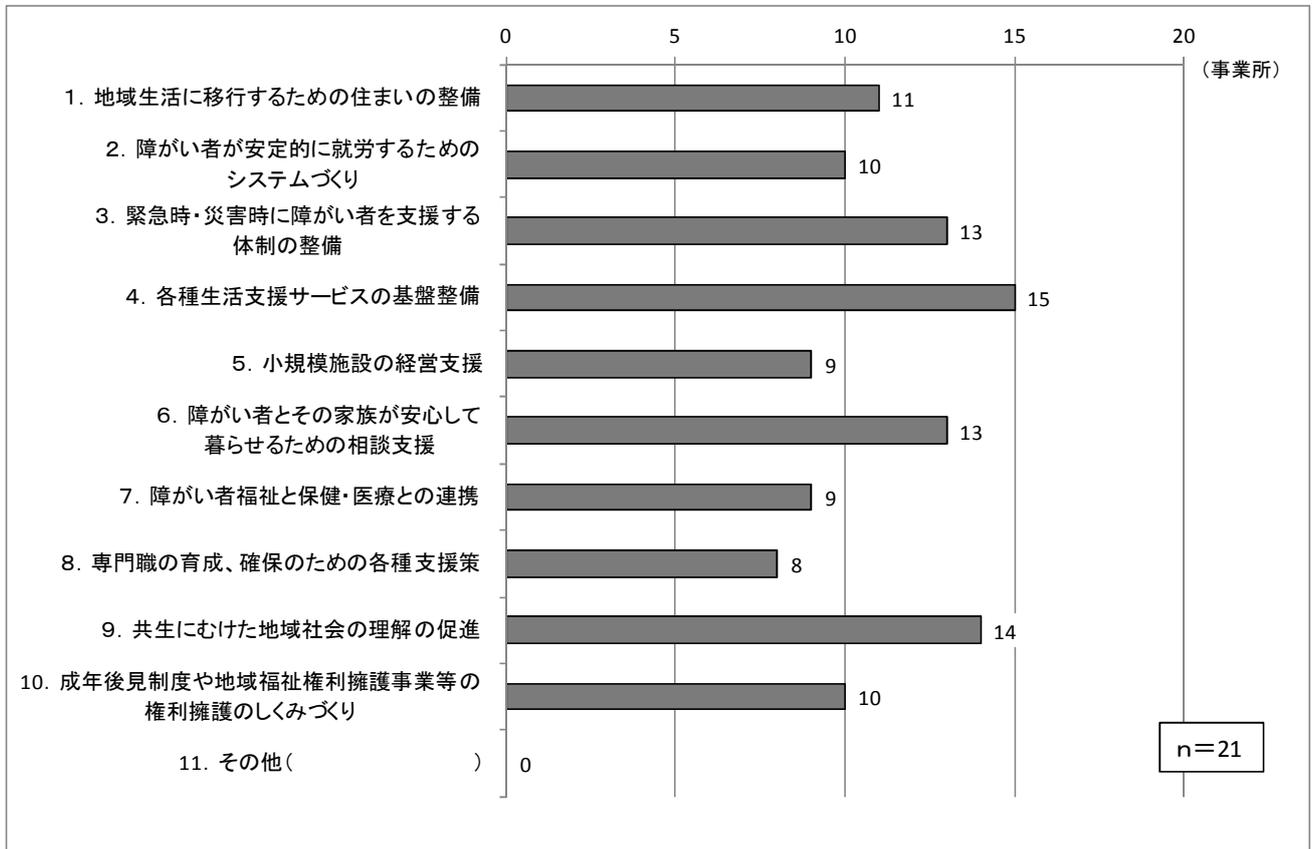
3 事業を展開する上での問題点・課題について

貴事業所が事業を展開する上での問題点・課題はありますか。(複数回答)



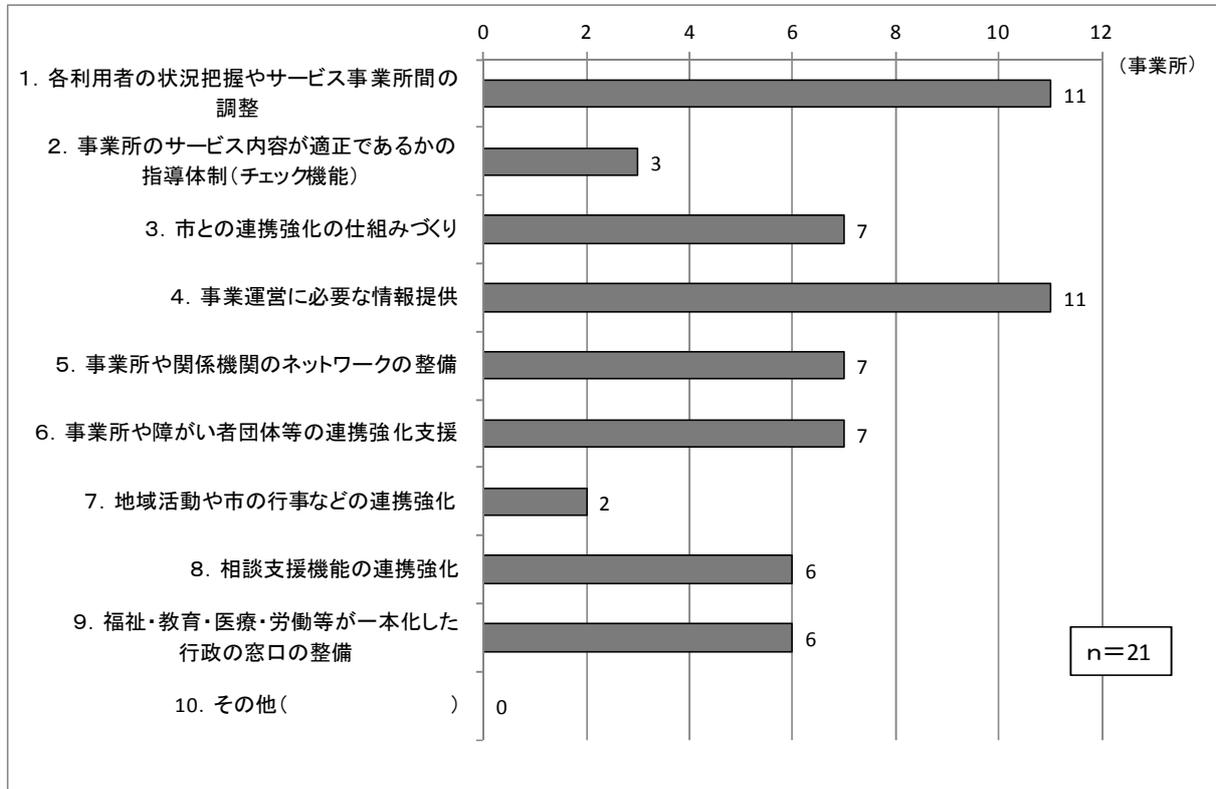
4 障がい福祉サービスの充実に向けて

市の障がい福祉サービスの充実に向けて必要なことは何ですか。(複数回答)



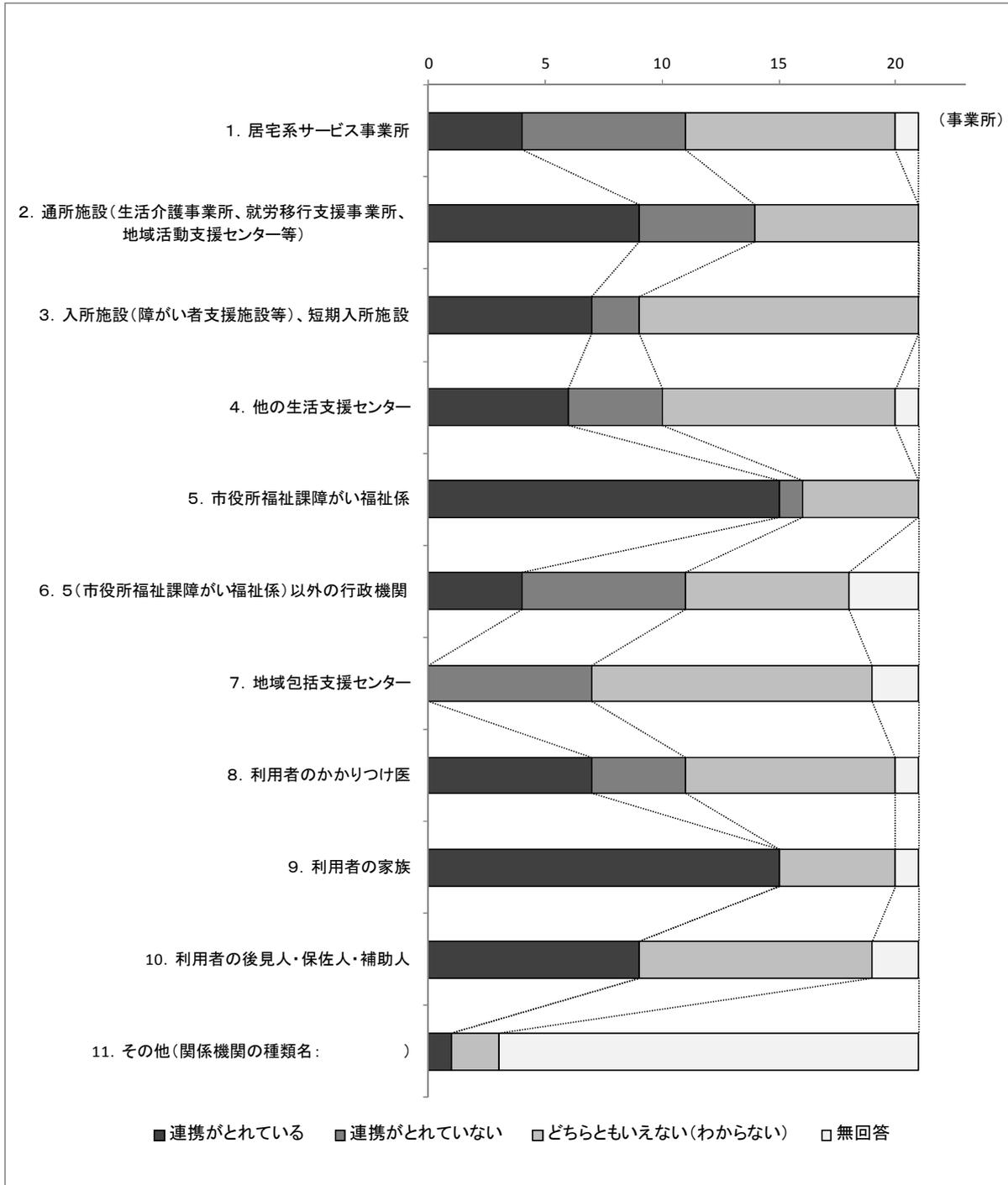
5 行政との連携について

行政との連携などについて重要と思われるものは何ですか。(複数回答)



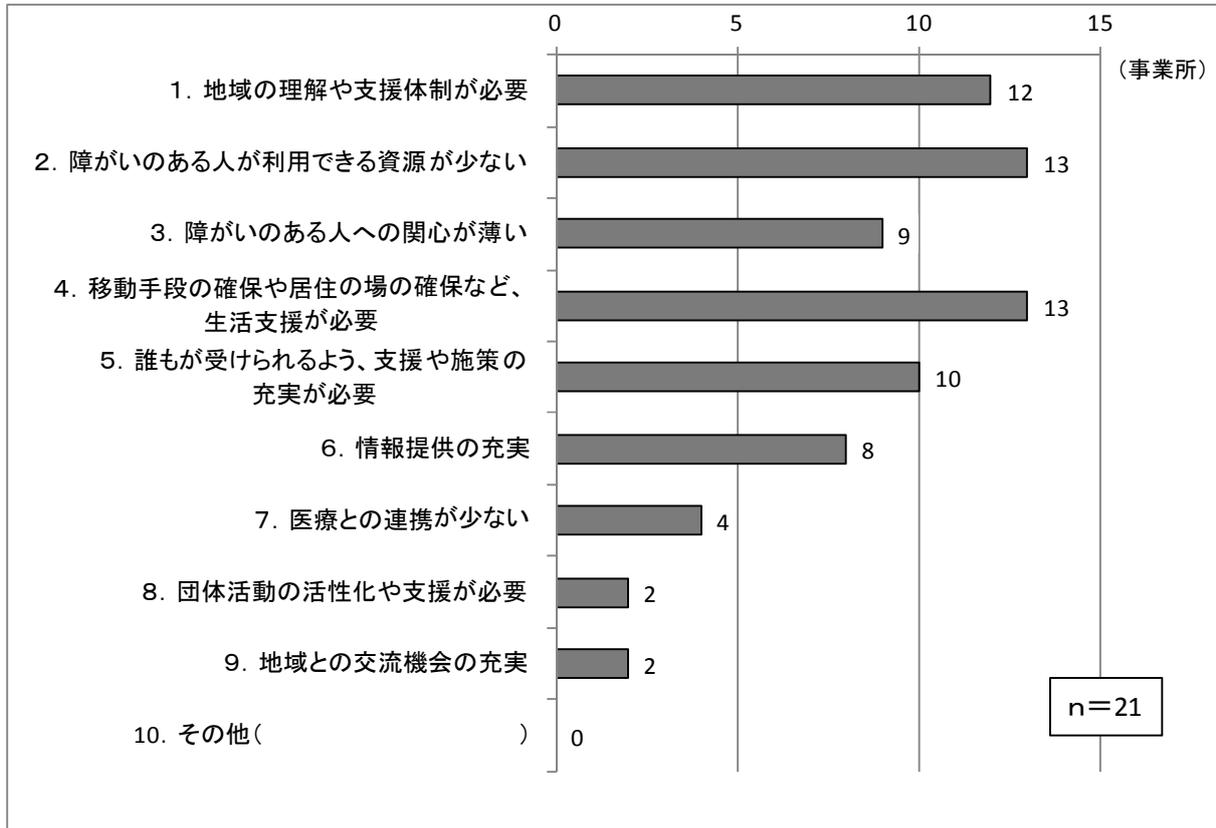
6 他の事業所や関係機関等との連携について

貴事業所と他の事業所や関係機関等との連絡調整や連携はとれていますか。
 (1つの項目につき、1つに○)



7 地域の課題について

事業を運営する中、または団体が活動する中で感じる地域の課題は何ですか。
(複数回答)



8 不足していると感じるサービスについて

貴事業所から見て、市内に不足していると感じるサービスがありますか。
ある場合、特に不足していると感じるサービスはどれですか。（複数回答）

